

2022年度休眠預金事業 採択に至らなかった団体

団体名	事業名	所在地	事業概要
NPO法人ゆこびと	地域の大人たちの連携で作るこどもの学び支援事業	千葉県鎌ヶ谷市	<p>基本的には、すでに市民活動を行っている市民から、新たに活動を行いたいと考えている市民を対象とした「こどもの貧困や、それが引き起こす社会的脆弱性」への理解と、本事業のボランティア等の発掘のためのセミナーを開催し、その後に経済的に厳しい環境にある子ども向けの報酬付の学習支援を実施します。この「報酬付」とは、月謝を払って習い事や学習塾を利用するという一般的な形態とは逆に、学習支援に参加することで子どもに報酬が現金ではなくポイントで与えられます。ポイントは食料品または学用品に交換出来るようにします。対象となる子どもたちへの周知は、市役所の協力を得てひとり親世帯向けの社会手当＝児童扶養手当の受給者に対して7月末日に発送される現況届に本事業の案内を同封します。それに加え、困窮世帯支援の主管課のケースワーカーから該当すると思われる世帯に配布することを想定しています。実際の学習支援は「お金の講座」「ロボットプログラミング講座」「親子で楽しむおもちゃ講座」「味噌づくり講座」で構成され、子どもたちは「考える」「調べる」「観察する」「形にする」「話し合う」「伝える」といった活動を行います。一連の講座の修了後は自由参加できる補講を実施し、継続的な学びの探求と交流が行える場を提供します。講師は鎌ヶ谷市内で活動を行っている学校では出会えないそれぞれの生き方を実践する「地域の大人」たちです。この間、講座参加によって得た食料品や学用品は直接自宅に届けます。届けるのは当法人のメンバーと地域のボランティアで、子どもの保護者と会い、世帯の状況を確認し、保護者の心配事を聞き、必要場合は行政機関等につなぐことに取り組みます。それぞれの講座では一回だけですが、鎌ヶ谷市子ども食堂ネットワークに参加する団体が講座の会場まで出張して昼食を提供し、子どもたちが地域の子ども食堂とつながりやすい環境を作ることも取り組みます。</p>
NPO法人居心地心理学	自殺を考える子ども・若者の心を支援	千葉県我孫子市	<p>自殺を考えること（自殺念慮）、引きこもりになること、世間から遠ざかること、これらの問題には原因があります。その原因を正しく、正確に把握することから問題軽減解消の道筋を立てることが出来ます。そして、その問題化軽減解消には、自分自身を知ること、相手のことを知ることが重要になってきます。その「知る」ということに関して、心理学と心理療法を使用していきます。当法人は、大きく2つの個性を軸に考えています。そこから最終的に12の個性に区分していきます。当事者が個性を把握していきます。そして、相手の個性も想定することで、相手への対応も考えていきます。もし「相手が悪いのに、なぜ、自分が変わらなければならないのか？」という疑問にお答えしていきます。問題を具体的に軽減解消する方法を考えていきます。また、まわりの当事者をサポートする側のご両親にもご理解いただきます。その上で、新しい知識から新しい視野と世界観を持っていただきます。生活環境または、生活のリズムを作っていくお手伝いをいたします。今後は、このようなことを行える場所、一時的に当人が心を落ち着かせることが出来る場所を確保したいと考えています。</p>
株式会社キズキ	コロナ禍で就労に困難を抱えた引きこもりの若者へのオンライン就労支援	東京都渋谷区	<p>コロナ禍で高まった失業率は回復に向かう一方、コロナ禍による引きこもり等の就労困難者は未だに多く存在する。既に就職困難者への就労支援は東葛地区にも数多く存在し、弊社でも柏市で障害者等の社会参加・就労を支援する事業を行っている。一方、引きこもり等の「外出が困難な方」への就労支援は既存の障害福祉サービスの枠組み（来所を前提とした支援）等では限界がある事が分かった。そのため本事業では引きこもりの方々へ「オンラインでの支援」を行い、外出できるようになった段階で、柏市・鎌ヶ谷市の適切な支援機関等へと繋げる支援を行う。また、弊社が活動する柏市・鎌ヶ谷市だけでなく、千葉県東葛地域全域の支援機関等がオンラインでの支援が可能になる体制を整備するために、各支援機関等へ「キズキクラウド」を提供する。キズキクラウドは「外出困難の方へのオンラインでの就労支援」を実現するために、弊社が開発した支援ツールである。セルフケア・働くための自己分析・IT基礎スキル・睡眠などを含む200種以上の動画コンテンツがあり、利用者が個々の課題に応じて視聴できる。「耳での情報処理が苦手な方のためにすべての動画に字幕がついている」など発達特性に配慮した機能もあり、可能な限りITに慣れていない方でも使いやすい操作画面となっている。引きこもりの方を対象としたアウトリーチは「毎回支援者が当事者の元に訪問する」事が前提となるため、時間や交通費の観点からコストがかかり、リソースに限りある小規模な支援機関等にとっての制約となる。そのような現場にキズキクラウドの提供と活用をサポートし、「対面・オンラインでの必要な支援の実施」を実現する。この事業を通じて、柏市・鎌ヶ谷市で既存の支援が行き届かなかった方々への支援を行い、東葛地区のNPO等にとっても限られたリソースの中でより良い支援が継続できる地域社会を実現する。</p>
NPO法人Crivel	中学生部活動支援活動	千葉県柏市	<p>国の方針としてスポーツ庁より、令和7年度までに、中学校の部活動が地域クラブ活動に移行される事になります。外部へ委託するという事ですが、柏市では、令和5年9月から本格始動する予定となっています。しかし現状は、方向性等詳細は何も決まっていません。平日は、学校で部活動を行い、土日は地域クラブ活動で、という方針の様ですが、地域クラブ活動に参加するためには、部費とは別に費用が発生すること、また、通う学校によっては入部したい部活動が無く、土日の地域クラブ活動のみの所属になると、絶対的に平日も取り組んでいる子よりも練習量は減り、差が出来てしまう。また、土日は毎回同じメンバーという事ではないため、子ども達の心理的影響もあると考えます。結果、子ども達は宙に浮いた状態に陥ってしまうという状況を解決する為、子ども達が安心して活動できるクラブを提供します。毎日ではなく、平日3日と土日を主な活動日とし、学業と両立し易くし、家庭の負担も確保出来るようにすること、そして会員費を部活動と同等に設定し、家庭の負担を軽減したいと思っています。</p>